

安全データシート (SDS)

作成日：2019年3月1日

更新日：2025年6月30日

1. 製品及び会社情報

製品名：バイオレム2000 油脂・燃料クリーナー

品番：LL-200-BRSS LL-200-BRTS LL-200-BR20L LL-200-BR2L

用途：バイオレム2000 油脂・燃料クリーナー (洗浄液)

会社名：株式会社エアモア

住所：〒630-0101 奈良県生駒市高山町5655

TEL：0743-21-0005 FAX：0743-21-0006

担当部門：品質保証部

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない
健康に対する有害性 : 分類できない
環境に対する有害性 : 分類できない

絵表示又はシンボル

注意喚起語 : 該当しない
危険有害性情報 : 該当しない
注意書き

他の危険有害性

: 該当しない

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

: 情報なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分/化学名	重量%	CAS Number	官報公示整理番号
水	70-90	7732-18-5	-
微生物 (枯草菌)	< 5	非公開	-
エラノーゼ	< 5	非公開	-
アルキルグルコシド	< 5	非公開	-
硫酸マグネシウム	< 5	非公開	非公開

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：	大量の水と石鹸で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合：	水で15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状：	情報なし
遅発性症状の最も重要な徴候症状：	情報なし
応急措置をする者の保護：	救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項：	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：

未使用品：	水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素
使用済み品：	吸収された液体に適した消火剤

使ってはならない消火剤： 火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性：

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（一酸化炭素、二酸化炭素）が発生する可能性がある。

特有の消火方法：

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

消火を行う者の保護：

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護服及び緊急時措置：

- 関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項：

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、ウェス、雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。

大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

接触回避： 皮膚や眼に触れないようにしてください。 飲み込まないでください。

衛生対策： 取扱い後は手をよく洗ってください。

保管

技術的対策： 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

小児の手の届かない場所に保管する。

容器が空になった後も、ラベルの注意に従うこと。

混触禁止物質： 次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸カルシウム

保管条件： 凍結を避け乾燥した、冷所に保管する。

保管期限:直射日光、熱源のない清潔で乾燥した環境で3 年間

容器包装材料： 食物、衣類、人や動物が摂取する製品用の空容器を再使用しないこと

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）：

ACGIH TLV： 設定されていない。

日本産業衛生学会： 設定されていない。

設備対策： 取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄剤のための設備を設ける。

高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

空気中の濃度を低く保つために、適切な換気を行う。

保護具：

呼吸用保護具： 換気が不十分な場合、保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具： 手に接触する恐れがある場合、不浸透性の手袋を着用する。

眼の保護具： 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡（安全ゴーグル、側板付き普通眼鏡型）を着用する。

皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9.物理的及び化学的特性

物理状態： 液体

外 観： 琥珀色の液体

臭 気： 軟らかな臭い

臭気限界： 測定データなし

pH： 8.5

流動点： 測定データなし

融 点： 0℃

凝固点： 0℃

沸点、初留点： 100℃

引 火 点： 測定データなし

滴 点： 測定データなし

蒸発速度： 測定データなし

蒸気圧： 測定データなし

蒸気密度： 測定データなし

比重（空気＝1）： 1.079

相対密度：

溶解度 水溶性： 可溶

n-オクタノール / 水分配係数：測定データなし

自然発火温度： 測定データなし

分解温度： 測定データなし

粘度：測定データなし

揮発性パーセント（％）： 測定データなし

固体引火性： 測定データなし

ガス引火性： 測定データなし

燃焼性： 測定データなし

燃焼範囲の上限・下限：測定データなし

注意：ここで記載された物理的データは一般的な値であり、仕様として解釈されるべきではない。

10.安定性及び反応性

反応性： 通常の取扱い条件下では安定である。安定した物質である。

化学的安定性： 通常の取扱い条件下では安定である。安定した物質である。

危険有害反応可能性： 次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸カルシウムと反応する。

避けるべき条件： 高熱、炎

混触危険物質： 強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。

危険有害な分解生成物： 情報なし

11.有害性情報

製品の有害性情報： 情報なし

成分の有害性情報： 情報なし

12.環境影響情報

製品の環境有害性情報

生態毒性： 情報なし

残留性・分解性： 情報なし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 該当しない

成分の感病有害性情報： 情報なし

13.廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が
廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装： 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って
適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規定

陸上輸送(ADR/RIDの規定に従う)

国連番号(UN number)： 該当なし
国連輸送名(Proper shipping name)： 該当なし
国連分類(Class)： 該当なし
容器等級(Packing group)： 該当なし

航空輸送(ICAO/IATAの規定に従う)

UN/ID 番号(UN/ID number)： 該当なし
国連輸送名(Proper shipping name)： 該当なし
国連分類(Class)： 該当なし
容器等級(Packing group)： 該当なし
副次危険性： 該当なし

海上輸送(IMO規定に従う)

国連番号(UN number)： 該当なし
国連輸送名(Proper shipping name)： 該当なし
国連分類(Class)： 該当なし
容器等級(Packing group)： 該当なし
副次危険性： 該当なし
海洋汚染物質(該当・非該当)： 該当なし
IBCコード： 該当なし

国内規制

陸上規制： 該当なし
海上規制情報： 該当なし
海洋汚染物質： 該当なし
航空規制情報： 該当なし

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号： 該当なし

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15.適用法令

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律：

海洋汚染防止法： 有害液体物質（Y 類物質）（アルキルポリグルコシド溶液、 アルキル基の炭素数が8 から10 までのもの及びその混合物であって、濃度が65 重量%以下のものに限る）

労働安全衛生法：

製造等が禁止される有害物： 非該当

製造の許可を受けるべき有害物： 非該当

健康障害防止指針公表物質： 非該当

変異原性の認められた化学物質： 非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物： 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物： 非該当

特定化学物質障害予防規則： 非該当

鉛中毒予防規則： 非該当

四アルキル鉛中毒予防規則： 非該当

有機溶剤中毒予防規則： 非該当

毒物及び劇物取締法： 非該当

化学物質排出把握管理促進法： 非該当

船舶安全法： 非該当

航空法： 非該当

高圧ガス保安法： 非該当

16.その他の情報

引用文献等：

(1) 英文 BioRem-2000 Surface Cleaner 安全データシート

(2) 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」（厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質安全対策室）

記載内容：ここに記載されている情報は知りうる限りの情報に基づいて作成しておりますが万全ではありません。またいずれの情報もこれを保証するものではありません。色々危険について述べておりますが、危険の存在可能性のみを記載しているものであり補償の対象ではなく、安全の保証をするものではありません。注意事項は通常の取扱いを前提にしたものですので、化学品の適合性の最終決定責任者は使用者自らであることを理解し、用途に適した安全対策を講じた上で御利用願います。